

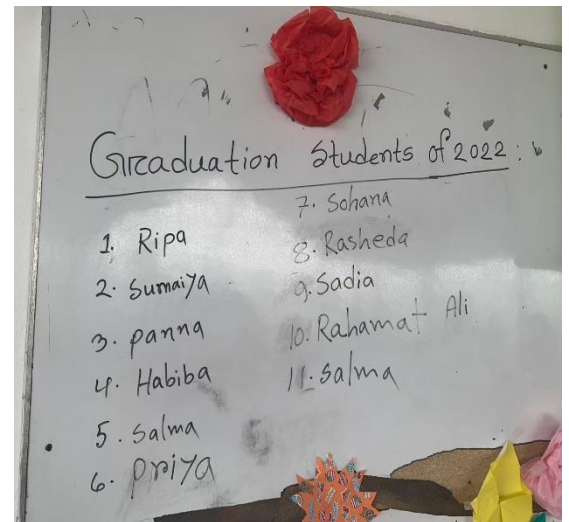


ひとひらレポート2023 No.8

このレポートは2023年度ワンドロップ年間報告書です。支援者の皆さんへお届けします

ワンドロップ (バングラデシュ教育支援の会) は2010年12月に「バングラデシュに楽しい学校をつくろう」という目的で結成されたボランティアグループです。2011年コミラの地に学校建設を決定し、2016年小さな学校を開校しました。現在5学年100名規模の学校となり、日々子どもたちが学んでいます。楽しい学校づくりを目指して支援は続いています。

第3期生の卒業式を挙行了しました (2023年1月)



卒業式 第3期生 (2018年1月入学・2022年12月卒業)

バングラデシュの小学校は1月始まり12月終了、5年生までが義務教育です。入学式も卒業式もありません。マジウンダーワンドロップ小学校では1月のスタディツアーの時、前年の12月に本校を巣立った子どもたちを集めて卒業式を行います。上の写真は第3期生の卒業式の様子です。11名の子どもたちが卒業しました。子どもたちの首にはキャンディレイ、手には自分の5年間の小学校の思い出いっぱいの世界で1冊だけのアルバムを大事に持っています。

キャンディレイは毎年の入学式の恒例のプレゼントです。卒業生たちは、5年前の入学式でも贈られました。日本のキャンディの甘い香りに待ちきれずに輪から外してほおぼって先生に注意されていました。甘い思い出です。卒業式でも同じキャンディレイで送り出します。これからの人生に幸あれと想いをこめて作りました。

手にしているアルバムは彼らの小学校の5年間、スタディツアーで訪問する度にその表情を取り集めてきた写真を、生徒一人一人のホルダーに整理して、個人用アルバムに作ったものです。その子だけの特別なアルバムです。長い人生、つらい時も悲しい時も、このアルバ

ムで小学校の楽しかった時期を思い出して乗り越えてくれたらと願いを込めて作りました。卒業生たちは中学校に進学する者、家族を助けるために働きに出る者、親を助けて家事に専念する者、様々です。そして、5年間を完了せず途中で学校を去っていった子どもたちもどうしているのか気にかかります。



在校生は1月に新1年生が入学しました。キャンデイレイや文房具を入れた手製の下げカバンなどを贈られました。在校生みんなでお祝いします。大きな目を輝かせて弾ける笑顔がいつも印象的です。これから5年間を楽しく学んでいけますように。

ワンドロップの支援の方向が変わります

現地のスタッフたちが自立して学校運営ができるように私たちは裏から支えます

2023年はワンドロップにとってその支援の在り方を変えるトリガーの年になりました。代表の大西をはじめ、ワンドロップの主要メンバーが高齢化しています。現在の活動を継続するのが不可能になる時期が近づいています。日本からの支援が終わると現地の学校運営はどのようなのでしょうか。その時のために、準備しなければなりません。

2023年8月のスタディツアーで現地のメンバーたちと相談をしました。結論はまだ出ていませんが、私たちの提案を伝えてきました。

- ① 2024年からマジュンダーワンドロップ小学校の生徒ランチは現地で賄うこと
- ② 2025年からマジュンダーワンドロップ小学校の先生サラリーも現地で賄うこと
- ③ 但し、学校を継続するための支援としてワンドロップは国内でバザーを行い、寄付金を募って現地の運営に協力をする。(金額は未定)

現地のタリクさんにとってはかなり厳しい内容です。2025年から学校運営を100%自分たちでしなければなりません。「不可能だ」と沈痛な答えが返って来ました。長い沈黙のあと、ぼつぼつと考えが出て、どうすればいいかという対策を協議しました。確実に現地の自立への意識が高まりました。自分たちでどうやって運営するかを意識し始めたのです。

かれらの対策に期待したいです。

バングラデシュの教育方針が変わっています

自ら学び考える力を持った子どもたちの育成を見据えて

バングラデシュでは2023年1月から学校のカリキュラムが大幅に変更になり金曜日と土曜日が休日になりました。読んで、書いて、覚えてという今までの教科指導主体から音楽、体育、美術などを取り入れた、楽しみながら学習するというまさにワンドロップが目指してきた教育の内容が変わったのです。このような変化は、現地では保護者たちや学校の先生た

ちの間でも混乱があって当分試行錯誤が続くものと思われます。

ワンドロップ小学校では自信満々



しかし、このバングラデシュ政府の教育方針変更はワンドロップ小学校の先生たちに自信を与えています。2016年の開校以来、私たち日本人が授業で見せた活動は全て今回の教育改革の内容そのものだったからです。現在、先生たちは、子どもたちに歌を指導し、ヨガの体操を披露し、読書の時間を設けて学習を工夫しています。朝礼の後、校庭のごみを拾うという活動もやっています。ワンドロップの教育理念を現地の先生たち自らが率

先して実行しているのです。すごい進歩だと思いませんか。

8月のツアーで実施した保護者の参観授業が10月に現地主導で行われました。いろんな学校行事(入学式や卒業式)が自分たちで実行できるようになっています。そうすることで、彼らの生徒に対する教え方にも変化が見えています。

8月のツアーで現地の会議に参加したメンバー山中さんの想いを紹介します

ワンドロップ小学校はようになっていくのだろう

バングラデシュの教育方針が変わった。教科指導が中心だったのを、音楽や美術などの芸術科目も取り入れて、教師が一方的に知識を教え込む指導法を変える。子どもたちが感じたこと、考えたことを引き出して対話しながら授業を進める。道徳面の授業も取り入れる。週休2日制も始まっている。これらはワンドロップ小学校が目指しているやり方と共通していることではないか。

ワンドロップ小学校の将来をどうしていくか、という話をしているとき、「この学校の教育を充実発展させて、バングラデシュの教育のモデル校として評価されるようになれば、国の支援も得られて存続が可能になる」というような意見があった。それを聞いたとき、運営資金の面、設備・教材・備品の面、教員の教育力・指導力などの現状から見て、とても無理なことだと感じていた。

しかし、ワンドロップ小学校の教育理念、カリキュラム、授業方法などは、大げさだけどバングラデシュ教育のモデルになってもいいものだと言えるかもしれない。

ワンドロップ小学校の 教育理念

学校はよりよい大人になるために学ぶ場所です。

よりよい大人になるために、

1. 時間を守る
2. 感謝の気持ちを伝える
3. 自分を清潔にする
4. 教室、学校、持ち物を大切に扱う
5. 友だちを大切に。助け合う、教え合う。注意し合う

これらの項目は、バングラデシュの人づくりのためにとても重要な教育目標になってもいいものではないか。ランチを無償で提供しているのも、これからのバングラデシュの公立学校のモデルになってもいい。保護者の授業参観も、取り入れてほしい取り組みだ。今、大西さんはネットでワンドロップ小学校の先生らと会議をしているようだ。ロシミアもそこに参加している。彼女は日本の大学で勉強しているから、日本の学校教育についても学ぶことが多いだろう。その経験からワンドロップ小学校の先生らに的確な提案ができる。また、彼女は、ワンドロップ小学校の取り組みをネットで情報発信してクラウドファンディングで資金を集めることもやってみたいと言っている。

ワンドロップ小学校は、その言葉どおり大海の一滴で、いつ消えてしまうかも知れない小さな取り組みでしかないけれど、なかなか夢のあることをしている。そして、もしかしたらワンドロップ小学校が存続していく道が開けることになるかもしれない。

2023年ワンドロップの会計から ワンドロップの2023年会計報告ができました

2023年度 収支報告書			
OneDropバングラデシュ教育支援の会			
2023年1月1日 ~ 2023年12月31日			
【収入の部】		【支出の部】	
1 寄付	769,126	1 現地運営費	1,126,963
2023ランチキャンペーン	(412,000)	ランチ	(417,707)
ひとひらキャンペーン	(220,600)	サラリー	(667,960)
カレンダーキャンペーン	(24,700)	カレンダーキャンペーン	(33,936)
その他 (イベントでの募金など)	(111,826)	消耗品費 (スパイス&現地文房具代)	(5,105)
2 補助金等	0	雑費 (振込手数料など)	(2,255)
3 利息雑収入	29	2 広報費(バザー等経費)	60,547
4 収益事業収入 (バザー、講演謝金など)	464,370	3 事務局費	0
年度収入計	1,233,554	年度支出計	1,187,510
前年度繰越	3,288,449	次年度繰越	3,334,493
収入計	4,522,003	支出計	4,522,003



を募り寄付を集めていかなければならないと考えています。継続的な支援を確保するため、ワンドロップの年会費として位置付けているひとひらを募る「ひとひらキャンペーン」により一層力を入れていくつもりです。

支出はバザーの材料費を除いてほとんど現地の学校運営に使われています。イベントのお手伝い、支援者様の手作り品、写真展に必要な印刷などの諸費用は全てボランティアの皆様のご自己負担に頼っています。

思えば、ワンドロップはずっといろいろな支援で支えられています。本当に素晴らしいボランティア団体だと思います。その支援に応えるのは、現地のマジュンダーワンドロップ小学校を継続させ、毎日、学校から楽しい子どもたちの歌声、学習の音が響いてくるようにすることだと信じています。

収入は(1)寄付金と(2)バザー等の売り上げです。

(1)寄付金のランチキャンペーンはこの3年間、その額の約80%は一人の支援者によって賄われてきました。その方は今年から事情があってランチ支援をストップされます。本当に長い間子どもたちの食をサポートしていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

(2)バザーについては毎年たくさんのイベントに参加し、カレーや物品を販売しました。添付資料の2023年の活動によるとバザーは12回ありました。その労力は大変なものです。

上の状況からみると、今年は寄付額の大幅減が予想されます。

前に書きましたが、ワンドロップのランチ支援という項目はなくなりますが現地でランチは提供し続けなければなりません。そのための現地への支援は続けます。

そのためには、より多くの支援者の方

まとめ

2024, 2025年は現地の自立を促し、かれらの活動を励ましながら支援をすすめていきます。そのためには国内での啓発活動（バザー、写真展など）を継続していきます。

会計報告の事情からみると現状を維持するのとても難しい状況ですが、難しいを何度言っても解決はしません。現地で私たちの支援を必要としている子どもたちがいて、彼らの未来を考えると何かいい術を見つけなければなりません。

皆様からの良いアイデア、アドバイス、あるいはイベントへの参加などお待ちしております。いっしょに考えていただけませんか？

よろしく願いいたします。

ワンドロップ代表 大西登志子



Web: <https://onedropbangladesh.jimdofree.com/>

Mail: onedropangla@yahoo.co.jp

Blog: <https://www.facebook.com/OneDropBangladesh>

◎支援者の皆さまへ

・ワンドロップは法人格を持たない「任意団体」です。

お送り下さった支援金については税金控除の対象となりません。予めご了承くださいますよう、お願いいたします。

・未使用の切手、書き損じハガキ(官製ハガキ・年賀ハガキ)をお送りください。引き出しの中などに眠っているものをお送りいただければ幸いです。支援者様へのお手紙の発送に使わせていただきます。

・メールやラインでの配信をご希望の方はご連絡ください。

2023 年の活動

2023 年 1 月

- ・小野市立河合中学校の 3, 4, 5 年生にワンドロップの活動のお話をしました。(1 月 13 日)
- ・第 22 回スタディツアーで現地訪問 (1 月 31 日～2 月 15 日)

2023 年 2 月

- ・小野市コミセンいちばの人権講演会でワンドロップの活動のお話をしました。(2 月 19 日)
- ・加古川びいプラスにてバングラデシュの文化紹介メヘンディワークショップ(2 月 24 日)
- ・小野市図書館で22回スタディツアーの報告会をしました。(2 月 26 日)

2023 年 3 月

- ・小野市商店街の陣屋祭りで写真展、リサイクルバザー
 黍田森の朝市(ゆぴか)でバングラデシュカレーの販売をしました。(3 月 5 日)
- ・小野市鋤溪温泉きすみのマルシェでバングラデシュカレーの販売をしました。(3 月 12 日)
- ・加東市市民のつどい。とどろきにて写真展示をしました。(3 月 21 日)

2023 年 4 月

- ・小野市役所ギャラリー写真展。15 日～29 日

2023 年 5 月

- ・きびた夜市(小野ゆぴか)でバングラデシュカレーを販売をしました。(5 月 6 日)
- ・加古川びいプラスで活動報告写真展をしました。(5 月 12 日～22 日)
- ・小野市鋤溪温泉きすみのマルシェでバングラデシュカレーの販売をしました。5 月 14 日(日)
- ・三木市みつきいホール(三木市役所)で活動報告写真展をしました。(5 月 25 日～31 日)
- ・加東市花と緑のまつり(ステラパーク)でバングラデシュカレーとリサイクル品の販売、(5 月 27 日(土) & 28 日(日))

2023 年 8 月

- ・第 23 回スタディツアーで現地訪問 (8 月 3 日～8 月 11 日)
- ・小野市図書館で 23 回スタディツアーの報告会をしました。(8 月 26 日)

2023 年 9 月

- ・きすみのマルシェで出店しました。小野市くわたに温泉(9 月 17 日)
- ・きびた森のカフェで出店しました 小野市ゆぴか温泉(9 月 26 日)

2023 年 10 月

- ・加東市役所ロビーにて活動報告写真展をしました(10 月 17 日～27 日)

2023 年 11 月

- ・加東市(秋のフェスティバル@播磨中央公園)でカレーを販売しました(11 月 5 日)
- ・小野市(かわいフェスタ)でカレー、リサイクル品を販売しました(11 月 11 日)
- ・きすみのマルシェで出店しました。小野市くわたに温泉(11 月 12 日)
- ・伊丹マダン@三伊丹市軒寺前広場でカレー販売をしました(11 月 19 日)

2023 年 12 月

- ・神戸市東灘区図書館にて活動報告写真展をしました(12 月 20 日～27 日)